

評価の方法・基準について

評価方法について

◆目標を達成するための具体的方策の取組状況について、教職員又は児童対象に、4(あてはまる)、3(どちらかというにあてはまる)、2(どちらかというにあてはまらない)、1(あてはまらない)の4段階でアンケートを取り、目標数値の達成度を次の基準で評価しました。

| 目標数値の達成度 | 評価 |
|--------------------------------------|-------------|
| ※回答結果 (%) ÷ 目標数値 (%) × 100 = 達成度 (%) | |
| 100%以上 (達成している) | … A 取組がよい |
| 85%以上～100%未満 | … B まあまあよい |
| 60%以上～85%未満 | … C あまりよくない |
| 60%未満 | … D よくない |

※総括の項目の○はプラス面の成果を、△はマイナス面の課題を表します。

評価の時期と改善に向けて

- ◆評価は、1学期末と2学期末に実施します。
- ◆目標の達成状況と具体的方策の実施状況を関連させて検証し、課題を明らかにすることによって、方策の改善を図ります。

評価の公表について

- ◆評価結果については、学校のホームページでお知らせします。

令和6年度 学校評価総括表

越前町立糸生小学校

| 重点項目 | 本年度 めざす 児童像 | 目標 | 数値目標(評価基準) | 評価 結果 | 具体的取組(評価基準) | 評価 結果 |
|----------|-------------------|----------------|---|----------|--|----------|
| 確かな学力 | 目標を持ち、粘り強く学び合える児童 | 粘り強く考える子の育成 | 「問題を解決するために、様々な方法であきらめずに考えることができた。」と答える児童が95%以上(当てはまる65%)を目指す。 | A(A) | 児童に学習内容の見通しをもたせ、児童が主体的に取り組む場面をつくる。(教職員) | A |
| | | | | | 生徒指導の4つの視点を取り入れた授業を行う。(教職員) | A |
| | | 協働的な学びがある授業づくり | 「自分の考えを伝えたり、他の子の意見を聞いたりして、お互いに学び合うことができた。」と答える児童が95%以上(当てはまる80%)を目指す。 | A(B) | 個別最適な学び・協働的な学び、ICT教育の実践に向けた情報交換を毎週行い、授業に活かす。(年間30回以上)(教職員) ※1~3月予定(10回)を含む | B |
| | | | | | お互いに学び合うためにICT機器を活用できるようにする。(教職員) | A |
| 豊かな心と社会性 | 互いに認め合い、協働できる子 | 認め合う仲間づくり | 「学校は楽しい。」と答える児童が95%以上(当てはまる80%)を目指す。 | A(A) | SSTやレジリエンス等のポジティブ教育を取り入れる。(教職員) | A |
| | | | | | 児童が企画・運営する活動の場を学期に1回以上設ける。(教職員) | A |
| | | 様々な人と協働できる子の育成 | 「みんなで何かをするのは楽しい。」と答える児童が95%以上(当てはまる85%)を目指す。 | A(A) | 行事を生かしてピアサポート活動を行う。(教職員) | A |
| | | | | | 地域の方等と交流できる活動を取り入れる。(教職員) | A |
| 健康な心と体 | 心身ともに健康でたくましい子 | 心・技・体の向上 | 「粘り強く運動に取り組むことで体力がついたり、技が向上・習得したりすることができた」と答える児童が90%以上(当てはまる80%)を目指す。 | A(B) | 体育授業や体育的活動で、自分に合っためあてを設定し、振り返る場を設ける。(教職員) | A |
| | | | | | 全校共通の準備運動に取り組み、継続的に補強運動を行うことで、体力の向上、技能の習得を図る。(教職員) | A |
| | | 健康の保持増進 | 「自分に合っためあてを考え、めあてを意識しながら健康に生活することができた」と答える児童が90%以上(当てはまる80%)を目指す。 | A(B) | 健康増進への意識をもたせるために、学年に応じた目標を立て、「健康カレンダー」、「我が家のメディアルール」に取り組みさせる。(教職員) | A |

令和6年度 学校関係者評価書

越前町立糸生小学校 学校関係者評価委員会

| 項目 | 評 価 |
|---------------------|--|
| <p>確かな学力を育てる</p> | <p>[粘り強く考える子の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数の苦手な児童でも、ゲーム形式の活動を取り入れ、遊び感覚で学ぶ事ができたことは、粘り強く考える力を育む事に繋がると感じました。これからも継続して下さるようお願いします。 <p>[協働的な学びがある授業づくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアやグループ活動で、自分の考えや他の子の意見を聞くことは、お互い分からない時は聞き合ったりでき、様々な考え方もある事が分かったりするので、協働的な学びに繋がると思います。 |
| <p>豊かな心と社会性を育てる</p> | <p>[認め合う仲間づくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ポジティブ教育は、気持ちが前向きになり、もっと学ぼうと思うようになり、良いと思います。 児童が企画運営する自主的に取り組む活動は、達成感も味わうことができ、とても良いと思います。 「レッツチャレンジ」というスローガンで、児童全体で課題に取り組むことはとても良いと思います。 <p>[様々な人と協働できる子の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の色々な人との触れ合いを通して、昔からの知恵を学んだり、作業体験ができたりますので大変良いことだと思います。 全児童の縦割りで作られた糸生っ子班は、協働できる子の育成に良いと思いました。 マレーシア留学生との交流では、ブルーベリー収穫やゲームなどで皆が楽しそうでした。留学生との交流会はこれからも続けて欲しいと思います。少しでも日本と外国との違いがわかれば良いと思います。 |
| <p>健康な心と体を作る</p> | <p>[心・技・体の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲーム感覚で自分の「めあて」を設定し、休み時間になると楽しみながら運動に意欲的に取り組めたことは、達成感が得られて、何事にも諦めず忍耐力もつくようになると思います。 <p>[健康の保持増進]</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康カレンダーにより「めあて」を明確にして取り組むことは、項目を絞る事ができ、良いと思います。早寝・早起き・朝ご飯は子どもだけでなく、保護者の協力も必要です。健康の保持増進は学校だけでなく、家庭でも高めてもらう事が大事だと思います。 |
| <p>学校教育活動全般</p> | <ul style="list-style-type: none"> ヘアメイクアップアーティストやEXPO スクールキャラバン出前授業などは、子ども達にとって良い学習だったと思います。数年後の学校統合はとても残念ですが良いクロージングができる様お願いします。 |